

Catch Your Dream

特集

夢に向かって 挑戦する学生たち

「とぼら」が案内する
附属図書館ガイド

[連載]

金沢大学の
キャリアサポート①

金沢大学へようこそ

希望の春

入学宣誓式

平年よりも早く咲き始めた桜が見ごろを迎えた4月7日、金沢大学では平成22年度の入学宣誓式を挙行了しました。学域・学類と大学院それぞれの新入生たちは、新たなステージに向けて、期待と希望に胸をふくらませていました。



森 和泉さん 石川県出身
〔人間社会学域 学校教育学類〕

地

元で教師になることをめざしているので人脈を広げたいです。

新入生たちの声

歴史と伝統、日本らしさが今も多く残る金沢での大学生活が楽しみです。

西川 祥子さん 岐阜県出身
〔人間社会学域 人文学類〕



作業療法士になるための勉強をがんばります。
永田 絵梨さん 岐阜県出身
〔医薬保健学域 保健学類〕



宣誓文を読み上げる新入生代表 小野田佑美さん

学

学域・学類の入学宣誓式は午前10時に開式。会場となった「いしかわ総合スポーツセンター」のメインアリーナには2千人近くの新入生・編入生と保護者が集いました。

式では中村信一学長が、学域学類制の第3期生となる新入生に向けて告辞を述べました。中村学長は、現代の大学生に求められるのは「今という社会空間における自身の位置づけができる力」であるとし、「この力が『教養』であり、学びと創造力の原動力になる」と説きました。

続いて、新入生を代表して人間社会学域の小野田佑美さんが入学の決意を宣誓。校歌斉唱や金沢大学フィルハーモニー管弦楽団による祝典演奏も行われ、厳粛ながらも華やかな式となりました。

午後からは金沢大学十全講堂にて大学院の入学宣誓式が行われ、876名がより高度な研究の世界へと歩み出しました。



緊張感と初々しさが漂う新入生



世界に貢献できる新薬を
開発したいです！

水口 翔太さん 岐阜県出身
〔医薬保健学域 薬学類・創薬科学類〕

齊藤 駿さん 宮城県出身
〔医薬保健学域 薬学類・創薬科学類〕

社

会に出て即戦力となれるよう、
学業、サークル活動、バイトなど
いろいろな経験を積んでいきます。



将来は専門を活かした研究をや
りたいです。機会があれば海外
でも働いてみたいです。

前田 樹さん 富山県出身
〔理工学域 物質化学類〕

夢・希望・未来



平成22年度 入学者数

- 学域・学類 1,801名
 - 別 科 38名
 - 編入学 86名
 - 大学院 876名
- 計2,801名



金

沢大学はさまざまな種類の
教諭免許を取得できる環境が
整っているとところが魅力です。

地元が好きなので金沢大学を
選びました。たくさん友達をつ
くって学びを深めたいです。

田村 矩子さん 石川県出身
〔養護教諭特別科〕



将来はステキな保健室の
先生になりたいです。
笠原 尚江さん 石川県出身
〔養護教諭特別科〕



十全講堂で行われた大学院入学宣誓式



在学生によるサークル勧誘



伝統の寮歌で新入生を歓迎



「威風堂々」の祝典演奏



特集 Catch Your Dream

夢に向かって 挑戦する学生たち

3学域・16学類それぞれのフィールドで、夢に向かって一步一步進む金沢大学の学生たち。総合大学での多様な学びを糧に、若さと情熱で夢を追う彼らの姿を紹介します。

Contents

- <座談会> 国際社会への貢献をめざして P5-7
- 金沢大学法律相談所 P8-9
- 金沢大×金沢美大 モノづくり実践プロジェクト P10-12
- 学生の熱意を応援! P13

〈座談会〉

国際社会への貢献をめざして

— いしかわ国連スタディビジット・プログラム —

夢の舞台で世界を学ぶ

ニューヨークの国際連合(以下、国連)本部を訪問し、国際政治の第一線で活躍する国連職員から講義を受ける「いしかわ国連スタディビジット・プログラム」。県出身や県内在住の大学生を対象としたこの取り組みの参加者に、金沢大学の川崎暢子さん(国際学類2年)、増田玲子さん(国際学類3年)、横田航志さん(医学科4年)の3名が33人の応募者から選ばれました。

プログラムは、「軍縮」「人道支援」「貧困」などのテーマで講義を受ける「プリーフィング」と、地元大学生との交流、国連日本政府代表部の表敬訪問などで構成。約2週間にわたり、3名は他大から参加した2人の学生とともに国際問題の最新情勢を学びました。

憧れの国際機関とそこで働く人々を目にして、彼らは何を得たのでしょうか。このプログラムならではの貴重な経験と学びを振り返ってもらいました。

↑プログラムに応募した理由は?

増田 もともと国連をはじめとする国際機関に憧れを持っていて、高校3年の時、アメリカ留学中に国連の見学ツアーに参加して国連を深く知ったことで好奇心がより強くなりました。そんな中、人間社会学域国際学類の倉田徹准教授の紹介でこのプログラムを知って応募することにしました。また、小学校3年の時に始めた合唱団のコンサートツアーで毎年のように海外へ行く機会があったことや、実家がホームステイを受

け入れていたことから英語に興味を持つていたのも理由の一つです。英語が話せるようになりたい、国外へ出て違う国の人と話したいと日頃から思っていました。

川崎 私も以前から国連に興味がありました。地球環境問題への関心や高校時代の留学経験から、国際問題や世界情勢について学びたいという希望を持っていたのです。でも国連は自分の中で漠然とした存在だったので、近い将来、是非自分の目で実際に見てみたいと思っていました。そんな時にアカンサスポータル※でこのプログラムを知り、迷わずすぐに応募しました。

※金沢大学のポータルサイト。掲示板やメッセージ機能を使った学生同士のコミュニケーションや、授業での配布資料の共有などに活用されている。

横田 私は医学類の掲示板を見てプログラムのことを知り応募しました。私は兵庫県出身なのですが、阪神・淡路大震災やJ・R福知山線の脱線事故など、多くの人の命が一瞬にして奪われるという現実を身近に経験してきました。また、世界では貧困が続いている国もあれば、地震、台風などの自然災害が起きている国もあります。そういう現実に対して自分ができるアプローチはないか、とずっと思っていました。

↑プログラムで特に何を学ぼうとしていましたか?

横田 人道支援について、特に緊急人道支援の後にいかに復興支援につ

なげていくのかということ。緊急人道支援では、UNHCR(国際難民高等弁務官事務所)、ユニセフ、WFP(世界食料計画)などの機関が中心となって被災地に入りますが、復興支援は、UNDP(国連開発計画)、WHO(世界保健機関)などが行います。それぞれの支援を担っている機関が異なるため橋渡しが難しいと感じており、その問題について学びたいと思っていました。

川崎 高校生の時に、国連難民高等弁

務官として難民支援に尽力した緒方貞子さんを知って強く惹かれました。その経験からUNHCRの活動に関心を持っていました。

また、以前から環境問題に興味を持っていたので、「持続的開発」のプリーフィングにも期待していました。

増田 私の場合は貧困問題です。貧困解決のためにはいくつもの課題がありますが、私は子どもが好きなもので、貧困削減解決策の一つである、教育支援について関心を寄せています。



横田 航志さん
YOKOTA Koshi

医学部医学科4年
兵庫県出身。趣味はトリアスロン。中でもランニングが一番好きな種目。座右の銘は「Where there is a will, there is a way」(意志があるところに、道がある)。

川崎 暢子さん
KAWASAKI Yoko

人間社会学域国際学類2年
福井県出身。趣味はピアノ、ウォーキング、天体観測。座右の銘は「Seize the day」(この日をつかめ)。

増田 玲子さん
MASUDA Reiko

人間社会学域国際学類3年
和歌山県出身。趣味は海外旅行、合唱、映画鑑賞、ピクニック。座右の銘は「Where there is a will, there is a way」(意志があるところに、道がある)。

—実際にプログラムに参加して
いかがでしたか？

増田 「HIV・エイズ」のブリーフィングが特にインパクトがありました。エイズが蔓延することによって女性の差別につながり、十分な職を得られなかったりします。また、薬も高額なため、貧困のスパイラルに陥る原因にもなります。それにエイズは性的な要因も多く、普段あまり語られることがないため、知識不足となり先進国にも重大な影響を及ぼすことがわかりました。

川崎 私は以前からアンゴラなどのアフリカ地域の人々は、ユニセフが救援物資を無料配布していることす



国連で行われたブリーフィング

ら知らないなどの現状に対して疑問を持っていましたが、簡単には解決できないのだということが分かりました。もっとダイレクトに解決できるのではないかと思っていました。多くの問題が絡み合っていて、改めて世界情勢の複雑さを感じました。

横田 私は日本政府の表敬訪問が印象に残っています。日本大使の話を実際に聞くと、外交官として国益重視の姿勢を意識して臨まれていることがよくわかりました。

—思い出に残っている活動やエピソードを教えてください。

川崎 週末に行われたモンロー大学の学生との交流会です。モンロー大学は世界の多くの国から学生が集まっています。夜にはみんなで寮へお邪魔して、ジャマイカやトリニダード・トバゴの留学生と食事会をしたことがとても楽しかったです。

横田 ニューヨークFRB（連邦準備銀行）の見学も貴重な体験でした。日本でいうところの「日銀」のよう

なところですね。北陸銀行ニューヨーク事務所の方に予定を組んでいただき、世界経済の中心地であるウォール街を見学することができました。

増田 最終日には研修報告会があり、各自がテーマを決めてプレゼンテーションをしたのですが、準備時間がなく仕上げるのが大変でした。川崎さんと私はUNESCO（国連教育科学文化機関）について、「文化遺産の保護が文化を破壊するのではないか」という発表をしました。問題提起が目的だったため、明確な答えを準備していなかったのですが、質疑応答で多くの質問があり、回答するに苦労しました。

横田 プレゼンの前日は、みんなでバスケットボールの試合観戦に行っただけです。帰ってからメンバーと討論しながらプレゼン資料を仕上げましたが、いつの間にか眠ってしまっていました。

増田 一番のエピソードは、私が財布を無くしたことでないでしょうか。プログラムに参加した5人で、

ブロードウェイに「メリーポピンズ」を観に行こうとタイムズスクエアを歩いている時に、スリの被害にあっってしまったようです。すぐに交番のようなどころへ届け出たのですが、

そこでは手続きができないと言われたため、遠くの警察署まで行くことになりました。手続きを待っている間、私たちの横に何かの事件の犯人が連行されてきていて、まるで映画のワンシーンをしているようでした。

結局その日はミュージカルを見ることができませんでした。いろいろな所に電話をかけたり、一緒に警察に行ってくれたり、メンバーに迷惑をかけて本当に申し訳なく思っています。

川崎 でもそのアクシデントに遭ったことで、メンバーの結びつきが強くなりましたよ。

横田 それは言えますね。

—プログラムに参加して得たものは何ですか？

川崎 視野が広がったことです。国際社会へ貢献するためには、どのようなアプローチが必要になるかが分かりました。世界で活躍するためには、自分がやりたいことの専門性を極めることが欠かせないということ強く意識するようになりました。

横田 そうですね。世界に貢献するためにどのようなステップを踏んでいったらいいか、今までぼんやりとしか分からなかったことが鮮明になり、リアルになってきました。ブリーフィングの内容も充実していました

いしかわ国連スタディビジット・プログラム日程

2010.2.22
移動 → ニューヨーク到着

2.23～26

- 国連研修(ブリーフィング)
概要、予算、国連とNGO、HIV・エイズ、政治、安全保障理事会、平和維持活動、人道支援、軍縮、テロ対策、国連難民高等弁務官事務所、ユニセフ、ミレニアム開発目標

2.27～28

- モンロー大学との交流

3.1

- 中間試験
- 国連日本政府代表部表敬訪問

3.2～3

- 国連研修(ブリーフィング)
経済、社会、国連開発計画、グローバル・コンパクト、持続的開発、貧困
- ニューヨークFRB(連邦準備銀行)見学

3.4

- 学生同士による研修報告会(プレゼンテーション)

3.5～7

移動 → 日本へ帰国

が、国連職員の方と食事をした際に個人的な話をいろいろと聞けて、日本人として、どのようなプロセスを経て、どんなところにアンテナを張っていたらいいのか非常に参考になりました。

増田 実際に国連へ行き、職員の方々から直接話を聞いて具体的な情報を得ることで、国連が掲げている政策の下にある草の根的な活動や、今まで分かりにくかった国連とNGO(非政府組織)の違いが少しずつ理解できるようにになりました。憧れていた国連がより魅力的になり、国連で働きたいという、モノクロだった夢に色がついてきたような気がします。

― 普段の学生生活について教えてください。

増田 私は国際学類の1期生として入学しました。「異文化としなやかに共生できる真の国際人を育成する」という学類の目的に共感したからで、サークルも法学類・法学部公認の「模擬国連北陸支部」に所属しています。そこでは参加者一人ひとりが世界各国の大使となり、設定した議題について話し合う会議を開き、決議を出すという活動を行っています。また、民間のユネスコに参加し、カンボジアの小学校を視察したり、金沢市内の小学校と連携して、不要になった文房具を仕分けして現地に送ったりするボランティア活動にも参加しています。

長期休暇には趣味である海外旅行へ出かけたりします。「タージマハルが見たい!」と思いついて、バックパックでインドへ行ったこともありました。

川崎 私は国際学類の2期生に当た



連邦準備銀行訪問

ります。オーブンキャンパスに参加した時、「金大には環境を研究している先生がたくさんいる」と聞き、関心があった環境問題を幅広く学べるという、総合大学の魅力を感じて入学を決めました。また、国際学類が誕生して2年目ということもあり、新たな可能性を自分で切り拓いていけるような気がしました。

実際は大学生活に慣れていなかったこともあり、やりたいことがたくさんあってもなかなか行動に移すことができませんでした。今回のプログラムに参加したことで、現場の方々と一緒に参加したメンバーから刺激を受けたので、もっと積極的に興味のあることに挑戦したいと思っています。

横田 私は2人と違って医学を学んでいます。金沢大学は北陸の基幹大学であり、医療の土台がしっかりと地域に根づいていますね。

普段は大学と家との往復ですが、



モンロー大学との交流会にて

学業の合間をぬって海外へ出かけています。今までに20カ国ほど行きました。医者になって社会人として行くのではなく、学生の時にバックパッカー*で現地の生活に溶け込み現状を見ておきたいという想いがあります。一歩海外へ足を踏み出すと世界ではさまざまなことが起こっていて、その状況を自分の目で見て体験するよう努めています。カンボジアでは、アポなしで病院を訪ね「日本の医学生です」といきなり告げて、病院内を見せてもらったことや、孤児院を訪ねたこともありました。

*低予算で個人旅行する人

― 将来どのような活動をしたいですか。

横田 人の役に立ちたいというのが第一ですが、医療を手段としてどのように社会に貢献できるかを考えていきたいです。ゆくゆくは国際保健分野に触れていきたいと思っています

すが、まずは十分な知識と技術の取得、そして豊かな経験を積んで、立派な医者になりたいです。

川崎 以前は環境問題に携わっていたかと思いましたが、今はそれに固執せず、幅広く勉強をしています。今なら何でも学ぶことができ、いろいろなオプシオンの中で、どのような方向性で何を学び、自分の持っている知識をどのように活かしていくか、どういった道に進んでいくかということを見極めたいと思っています。

増田 貧困削減のために国連で働くことをめざしています。それだけに、今回の「いしかわ国連スタディビジット」に参加して得たものは大きかったですね。自分のやりたいことに対してアンテナを張り続け、自分から歩み寄る姿勢で多くの体験を積み重ねれば、その夢に少しでも近づくとができると思います。



マンハッタンで5人揃って夕食へ



【特集】Catch Your Dream

民事の相談，お聞かせください。

金沢大学法律相談所

法律の勉強はもちろんのこと，身だしなみ，話し方，振る舞いなど細部にまで気を配り，市民を対象に毎週無料法律相談を行う，法学類・法学部公認サークル「金沢大学法律相談所」の学生たち。自らのスキルアップを図りつつ，地域社会にも積極的に貢献しています

法律の現場に臨む

金沢大学法律相談所、通称「法相」の歴史は深く、発足は金沢大学が開学して7年後の1956年。法学部（現法学類）の代表的なサークルとして50年余の伝統を築いてきました。これまでに受けた相談件数は1万件以上で、OBには弁護士や司法書士といった法律専門家が多数います。毎週土曜には、金沢大学の前身校の一つである旧制第四高等学校ゆかりの石川四高記念文化交流館で「市内法律相談」を実施。法律を学ぶ学生にとって「法律相談所」の活動は、机上の勉強だけでは学べない「法律の現場」に接する貴重な機会となっています。

相談者の気持ちに添う

学生が相談員を務めるこの法律相談は、予約が不要で無料のため、利用者にとっては気軽に相談できるメリットがあります。活動に経費をかけられない点や経験年数の少なさは工夫と努力でカバーしています。「せつかく足を運んでくれた相談者の方に満足していただきたい」と話すのは所長の山内一さん（人間社会学域法学類3年）。週2回の勉強会でいかに効率的に学ぶか工夫を凝らします。経験を重ねた先輩が講義やグループワークで後輩を指導。真剣味が足りないといけない気が飛ぶこともあります。法律相談には先輩後輩混成チームで臨み、会場には顧問の教員も待機。学生が聞き取った相談情報を顧問に正確に伝えて皆で検討し、導き出された法的解決策を相談者に解りやすく説明します。

「要点を押さえて漏らさず聞くこと、正確に伝えることや、相談者の立場を

配慮しながら誠心誠意対応することを心がけています。メンバーにとって、相談者のみなさんの「ありがとう」の言葉が何よりの励みです」。

悩みを持つて訪れる人は、想像を絶する深刻な問題に直面しているケースもあります。法律では救ってあげられないと判った時は、法律と社会の矛盾を感じ、なんとも言えない気持ちになったことも。時には厳しい現実を、時には解決の方向性が見えて晴れ晴れとした気持ちを相談者と分かち合いながら、1件1件の相談と誠実に向き合う。相手の立場で物事を考える経験を地道に積んだ学生たちには、おのずと常識や責任感が培われ、人間的な魅力が育まれていきます。



Study

法律相談所の勉強会

Ⅰ 民法研究会

毎週火曜日に1～3年生の所員全員で実施。小グループに分かれ、主に2年生が1年生を指導するかわちで法律相談を受ける際に必要な法律の知識を学びます。

Ⅱ レジюме検討会

毎週土曜日に実施。3年生が作成したレジюмеをもとに3年生が2年生を指導。小グループで模擬法律相談も行います。

Ⅲ カルテ研究会

法律相談を実施した後、3年生が集まり、相談を受けた内容について全員で再検討し回答の妥当性を議論します。



春と秋には福井市や小矢部市などへ「出張法律相談」、夏には能登地区の「巡回法律相談」を兼ねた合宿に出かけるというメンバーたち。100名を超える大所帯でありながら、「法務の実践」の積み重ねにより強い絆で結ばれています。法を「知る」だけでなく「身につける」ため、チーム丸となって力強く歩んでいます。

チームで成長するために



サークル伝統の看板

Information

金沢大学法律相談所

Ⅰ 相談事例

民事一般
相続、婚姻、離婚、親子関係、借地・借家、破産、保証人金銭貸借 など
※刑事事件、税金関係、係争中(裁判で争っている状態)の案件、労働関係は対象外



Ⅱ 今後の活動予定

- ・ 2010年8月7日～9日 能登巡回法律相談
- ・ 11月～12月 福井市、小矢部市、小松市、宝達志水町、能美市各所への出張法律相談

Ⅲ お問い合わせ

金沢大学法律相談所
e-mail : kanazawau_hoso@yahoo.co.jp
http://kindaihoso.web.fc2.com/

Topics

金沢大学大学院法務研究科 (法科大学院)

地域に根ざした法曹教育を理念として、金沢大学では2004年4月に法科大学院を設置しました。「適切かつ迅速な紛争解決を目指し、事件を分野横断的に捉えることができる法律家の養成」「紛争予防のための調整能力を備えた社会貢献をなす法律家の養成」を教育目標の2本柱として、徹底した少人数教育を実施しています。

法律事務所で実習を行う「エクスターンシップ」や、一般市民を対象にした無料法律相談を行う「クリニック」など、生きた法の世界を体験する実務基礎科目も充実しています。2009年度新司法試験には、修了生から11名が合格しました。

Teacher's Voice

福本 知行 准教授
人権社会研究域 法学系
伝統ある金沢大学法律相談所の顧問として、法律相談に臨む所員の真摯な姿勢に接するにつけ、責任の重大さに襟を正すばかりです。学生たちにはこれからも地道な活動を着実に積み重ねるとともに、常に自分たちで何か新しい伝統を作り出すという心意気を見せてもらいたいと思います。



専門は民事手続法。趣味は登山・囲碁。

OB's Voice

木村 幸典 弁護士
たちはな法律事務所(静岡市)
金沢大学法律相談所には、イベントの楽しさと賑やかな仲間へ惹かれ、入学当初から在籍しました。勉強会や合宿、各地での法律相談に参加して培った事案分析能力、法的知識および相談者への説明能力は、現在弁護士として臨む数多くの法律相談に活かされています。



本学法学部卒業、同大学院法務研究科修了。



【特集】Catch Your Dream

辰巳用水で水力発電

金沢大×金沢美大 モノづくり実践プロジェクト

江戸時代、加賀藩によって兼六園や金沢城、金沢市内へと配水する用水路として整備され、現在は国指定の史跡となっている辰巳用水^{たつみようすい}。今も市民に親しまれている遊歩道沿いの用水路に、2009年10月、美しい木製の水車が現れました。

「粋紗プロジェクト」 スタート

螺旋状に羽根が付いた木製の水車が辰巳用水の流れを受けて美しく回り、その力によって作られた電気が、辰巳用水脇の遊歩道をほかに照らしました。これは、モノづくり実践プロジェクトに参加した「Team 粋紗」の水力発電システムです。

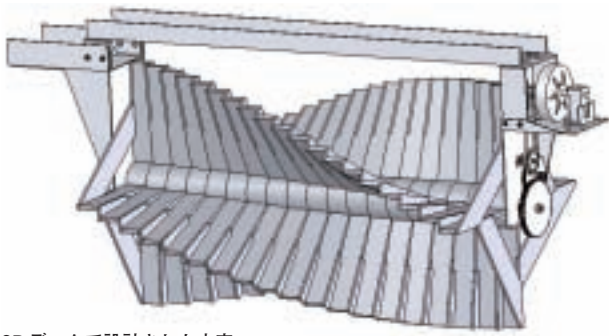
モノづくり実践プロジェクトとは、理工学域（工学部）の学生が金沢美大の学生とチームを組み、テーマに沿ったものづくりで入賞を競うコンテスト形式の課外活動です。

金沢大学大学院自然科学研究科流体工学研究室の仁志出憲聖さん、桑野馨さん、広瀬利次さんの3人はコンテストへの参加にあたり、社会的に大きな課題となっているエコや環境保護に流体工学研究室の知識を活用したいと、水車による発電を企画。また、仁志出さんの地元である金沢の歴史文化を活かしたいという想いから、その設置場所を辰巳用水にすることを決めました。

この金大生の企画に、辰巳用水の景観にふさわしい水車を創るため、金沢美術工芸大学デザイン科の濱田夏美さん、井上未央さんの二人がデザイナーとして参加し、「Team 粋紗」のプロジェクトがスタートしました。

調和するデザイン、 機能する設計

プロジェクトは、金沢美大生による水車のデザインから始まりました。「辰巳用水の景観に調和する美しい水車」という目標のために、たくさんのアイデアスケッチが金沢美大生



3Dデータで設計された水車



デザインから実在の形へ

完成したデザインを元に3Dデータで正確な設計図を描き、いよいよ組み立てに入ります。素材は水車が風景と調和するように、普段使うプラスチックや金属ではなく、木材を選びました。しかし、木材は湿気などで大きさが微妙に変化したり反ってしまうことがあり、使い慣れている鉄などの素材との違いに四苦八苦したと言います。材料の到着が予定より大幅に遅れるというトラブルにも見舞われ、完成予定期日の迫る中、急ピッチで大きな水車が組み上げられていきました。

チームから提案されましたが、中には流体力学を勉強してきた仁志出さんたち技術者から見ると、「あきらかに水車が回りそうにないもの」もあったと言います。

効率の良さや実現可能性を考慮する設計担当の金大生チームと、美しさや面白さを追究するデザイン担当の金沢美大生チーム。互いの意見を伝えるために何度もやり取りが交わされ、候補となるデザインが少しずつ絞られていきました。

最終的に残ったデザインから、製作のリーダー桑野さんが中心となつて小さなモデルを試作。発電効率などの実験が行われ、効率の良かったデザインにさらに微調整を加え比較するなど、実験が繰り返されました。また、何度も現地へ足を運び、周囲の自然と調和するデザインや、水量・勢いを確認するというフィールドワークも念入りに行いました。そうして最終的に決定したのが、螺旋形が印象的なデザインでした。

モノづくり実践プロジェクトとは？

金沢大学理工学域とモノづくり実践プロジェクト実行委員会の主催による、コンペティション形式のモノづくりプロジェクトです。エンジニア(本学工学系学生)とデザイナー(金沢美大生)がチームを結成し、それぞれの分野や文化の特性を活かしながら、協働でものづくりの提案・実践をします。金大生の工学的着想と金沢美大生の芸術的視点の組み合わせで、ハード・ソフト・デザインが融合した実用的なモノづくりの発案を評価するもので、2008年度からスタートしました。

第2回のテーマは、「安全・安心・豊かな社会環境の創出―地域の伝統と未来―」。自然環境と調和した持続可能な循環型社会に向けたものづくりに、金沢大から9チーム、金沢美大から5チームが応募し、第1次審査を通過した7チームが最終審査に挑みました。最終審査会では、各チームのアイデアと趣向をこらしたプレゼンテーションが行われ、優秀作品には、賞状と副賞が贈られました。



第2回

最優秀賞

DENTO-DENTO
～LEDと伝統工芸を用いた金沢における照明の新しいカタチ～

九谷焼と加賀友禅を取り入れた、環境に優しいLED照明を製作。身近な照明器具に伝統工芸を組み入れることで、文化の継承と発展をめざしている。



第2回

優秀賞

風力発電を用いた
循環型社会に向けた
オブジェ

風を受けると風車が回り発電し、その電力で花を咲かせるオブジェ。窓を開けて自然の風を取り入れようというメッセージが込められている。



水車が回るエネルギーで光るLEDライト



なんとか完成した水車を設置するにも一苦労。水が水車を回す力は想像していた以上に大きく、用水に設置することも困難でした。それだけに水を受けて回る水車の美しさに感動し、メンバー全員から自然と歓声があがりました。

用水路内への水車の固定が十分でなかったことや、自動車用の発電機を使用したため力不足だったこともあり、1回目の挑戦ではライトをつけることは出来ませんでした。しかし明かりをともしたいという「Team 粋紗」の思いから、プロジェクトは続けられました。

プロジェクトを指導した木綿隆弘教授にアドバイスをもらい、後日再チャレンジ。辰巳用水に似合う、ほのかな明かりがともるように調整し、見事に成功しました。淡い光と美しい水車、歴史のある辰巳用水の織り成す風景を前に、全員で喜びを分かち合いました。

残念ながらモノづくり実践プロジェクトでの受賞は叶いませんでしたが、プロジェクトを通してチームで一つのことをやり通したという経験は充実したものでした。現在はそれぞれの課題や研究に取り組んでいます。このプロジェクトでの経験が将来の大きな糧となるに違いありません。

失敗と再チャレンジ、そして成功

モノづくり実践プロジェクトに参加した感想



理工研究域機械工学系

木綿隆弘 教授

専門分野は噴流、流体力学。

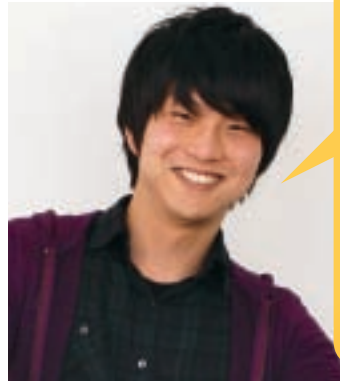
プロジェクトのテーマに沿って加賀地方に因んだモノや未来の環境に配慮したアイデアが出され、学生が考えたとは思えない程のいろいろとおもしろいプロジェクトがありました。決められた期日と予算内にアイデアを実際のモノに完成させることは企業ではごく普通のことですが、学生らは四苦八苦していました。美大生が加わるとやはりひと味違ったデザインになっていました。私がサポートした「Team 粋紗」は、景観にマッチした水力発電を行いました。設計どおりに動かない機構の難しさ、金沢市や辰巳用水土地改良区への許可申請、チームワークの維持など、社会人になる上で大変良い勉強になったと思っています。

Teacher's Voice



広瀬利次さん

金沢美大生や地域の方、行政などやり取りを重ねることで、頭の中で漠然としたイメージだった社会のつながりというものが見え、その難しさや楽しさが分かったのがよかったです。



桑野 馨さん

「この部分は桑野に任せよう」と言ってもらえたのがとても嬉しかった。仕事を任せてもらえるためにも、自分でこれだけは他の人に負けない! という長所を磨いていきたいです。



濱田 夏美さん (金沢美大)

「デザインすることが世の中にとって作用するのか、デザインは社会にどう必要とされているのか」ということを考えるようになりました。まだ答えは出ていませんが、デザインの先に何かがあるのか、これから勉強していきたいと思っています。



仁志出 憲聖さん

普段は別々の課題を研究している皆が、一つの目標に向けて協力するというのが新鮮で楽しかったです。石川県が好きなので、卒業後も地元を盛り上げて行くようなことがしたいと思っています。

Student's Voice

[特集] Catch Your Dream

学生の熱意を応援!

金沢大学憲章では、「学生の個性と学ぶ権利を尊重し、自学自習を基本とする」と宣言しており、学生の意欲的な研究や活動をさまざまな角度から応援しています。



卒業式で「学長表彰」を授与

学長表彰は、論文等で優れた成績を修めた学生、課外活動の振興に顕著な功績があった学生や団体、また社会活動において優れた評価を受けた学生や団体を表彰するものです。2009年度には1団体19人が表彰されました。

学長表彰



学長研究奨励費研究結果発表会

学士課程学生の研究意欲を刺激し、本学の研究・教育の質の向上を図ることを目的としており、公募により採択された研究について必要とする物品等を援助する制度です。2009年度は17件が採択されています。

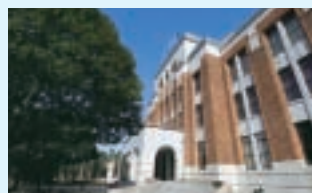
学長研究奨励費

県内企業の経営者と学生が身近に語り合う場です。学生が県内産業の魅力やそれを取り巻く環境を知り、多様な職業感にふれるとともに、自身のキャリア形成を図る上で大学生活をいかに送るべきかを考えることを目的としています。

学生・企業まちなかサロン

学修の幅を広げることを目的とする単位互換事業で、在籍する大学以外の授業科目を履修し、その取得単位が在籍している大学等の単位として認められる制度です。13ジャンルの幅広い分野が開講され、多くの学生が学んでいます。

いしかわシティカレッジ



大学コンソーシアム石川事務局がある「しいのき迎賓館」

高等教育機関の相互関係や、地域社会や中学校・高等学校などとの連携を深めるため、全国各地で「大学コンソーシアム」が設置されています。人口当たりの高等教育機関が京都に次いで多い「学都」金沢にも「大学コンソーシアム石川」が置かれ、金沢大学はその主体的な役割を担い、多くの教員が高等教育機関全体の魅力向上のために取り組んでいます。また、地元に対する意識を深めるための公開講座「いしかわ学」では、金沢大学の教員も多く講演しています。

大学コンソーシアム石川

番外編

まだまだたくさん!
地域で輝く金大生

サークル「灯」あかり

能登半島地震の被災地で足湯のボランティアに取り組みサークル。月に1回現地を訪れ、住民の足と心を温めています。また、これまでに得た経験とノウハウを活かし、お年寄りの閉じこもり防止や悩み相談の拠点づくりには足湯の導入を考える金沢市内の町会などにアドバイスも行っています。



創ル部

石川県内12の大学・短大・専門学校・高専の学生による企画団体です。金沢の中心地活性化を目的に、自分たちの特性を活かしてイベントの企画・運営を行います。約70名の学生が「金沢Ⅱ学生がアツイ街」をキーワードに、学校の境界線を越えた交流を行っています。

雪かきボランティア

学生ボランティアチームが金沢市内の町会と「学生等雪かきボランティア協定」を結び、独居老人宅前や小学校の通路などを除雪します。メンバーには雪かきの経験が少ない県外出身の学生が多いものの、「ありがとう」の言葉を励みに地域のために活動しています。



とぼらが案内する 附属図書館ガイド

全館合わせて蔵書は178万冊！
学術図書はもちろん、寄贈文庫や雑誌が豊富に揃う附属図書館の魅力を、学生ボランティア「とぼら」がご案内します！

■ 角間キャンパス(北地区) ■ 角間キャンパス(南地区) ■ 宝町・鶴間キャンパス

「とぼら」とは……？

「本が好き」「図書館が好き」「人の役に立ちたい」。そんな学生による中央図書館のボランティア。
館内の案内をはじめ、図書・CDの展示、映画上映会、とぼら選書コーナーの設置など、さまざまな企画で図書館を盛り上げています。

中央図書館

加賀藩の風俗を描いた「加賀藩年中行事図絵」、真宗大谷派僧侶で、郷土を代表する仏教思想家・暁烏敏師旧蔵「暁烏文庫」などの貴重書から、就職支援図書、日本語の教科書や日本文化を紹介する外国人向け図書まで、大学の教育・研究に関連した資料を所蔵。3階にはグループ学習用のスペースも充実。理想的な学習環境を提供しています。



【開館時間】 平日 8:45 ~ 22:00
土・日曜 9:00 ~ 17:00

私たちが
ご案内します！



ブックラウンジ

課題のレポートをまとめたり、友達とのおしゃべりを楽しんだり、カジュアルに使えるコミュニケーションスペース。「ほん和かふえ」のコーヒーを楽しみながら大学の研究を紹介するサイエンスカフェ※などの市民向けイベントも開催しています。

※飲み物を片手に気軽に雰囲気の中で科学を語り合う場。



本格的で
おいしいです！

ほん和かふえ

2010年4月にオープンした中央図書館ブックラウンジ内のカフェ。地元金沢の専門店によるおいしいコーヒーを手軽な価格で楽しめます。「ほん和かサンド」や各種ケーキも人気。お得なセットメニューも揃って、みんなが集う憩いの場となっています。

チーズケーキ
(250円)



ほん和かサンドセット
(400円)



カフェラテ(250円)と
抹茶ラテ(290円)(右)



【営業時間】 平日 9:30 ~ 19:00 (学期休み中は閉店)



【開館時間】医学系分館 平日 8:30 ~ 22:00
 土曜 10:00 ~ 16:00
 保健学類図書室 平日 9:00 ~ 22:00
 土曜 13:00 ~ 17:00

授業に必須の基本書から医師・看護師の国家試験対策まで、医学・保健学系の学習をサポートする専門図書館です。

医学系分館・保健学類図書室



【開館時間】平日 8:45 ~ 22:00
 土曜 10:00 ~ 17:00

全面ガラス張りのおしゃれな造り。閲覧席からの眺めは最高です。理工薬学系の専門書やジャーナルも充実し、48万冊収蔵可能な自動化書庫が完備されています。

自然科学系図書館



2010年4月、学生の学習を支援するスペース「コラボスタジオ」が中央図書館3階にオープン。グループ学習やミーティングに便利です



明るくて開放的！



附属図書館へ行くこう！
 「地域に開かれた図書館」として、北陸3県に在住の方や、石川県内の事業所・学校に通勤・通学されている方には資料の館外貸出も行っています。
 現住所が確認できる身分証明書の提示と利用申請書の提出で、附属図書館全館で使える図書館利用券（年度内有効）が発行されます。

ご利用方法など、附属図書館をもっと詳しく知りたい方はコチラ！
<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>

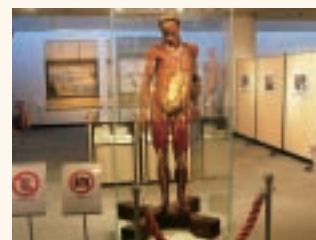


ビジネス関連の書籍も充実！北陸銀行文庫

本学と包括的連携協定を結んでいる北陸銀行から寄贈された図書を集めたコーナーです。学生が就職してビジネスマンとして働くために必要な知識・スキルを身に付けるための図書や、北陸の企業・経済に関する図書が揃っています。すでに社会人として働いている方にもご利用いただけます。中央図書館サービスカウンター前にあります。



中央図書館に併設され、金沢大学に関する学術研究資料・文書を系統的に収集・整理・保存しています。加賀藩時代の史料や暁烏陶磁器コレクション、旧制四高の物理機器など貴重な資料の数々は必見！趣向を凝らした企画展も開催しています。



修復記念・資料館特別展示企画として、19世紀に作られた紙製の人体解剖模型「キントレーキ」を展示（2010年4月～6月）

【開館時間】平日 10:00 ~ 16:00
<http://muse.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

金沢大学資料館

Graduate Interview

卒業生インタビュー

小学校教諭

秋田 紗也加

AKITA Sayaka

金沢大学での4年間、子どもたちと交流を行うボランティア活動を続けてきた秋田紗也加さん。小学校教諭として歩き始めた彼女に、ボランティアに関わるようになったきっかけや障害児教育への思いなどを伺った。



子どもたちとの思い出の品を手



クリスマス会でケーキ作りをする秋田さん(左)

障害を持つ子どもたちを支える

中学時代に出会った障害を持つ友人の純粋さに惹かれ、障害児教育を志したという秋田さん。彼女が勉強の場として選んだのが金沢大学だった。自閉症やアスペルガー症候群について活発に研究を行うなど、障害児教育を学ぶ環境・体制が充実していたからだ。

ボランティアへ参加するようになったのも、同センターに所属する大井学教授(人間社会研究域学校教育系)の言葉がきっかけだったという。「机の上で学ぶだけでなく、実際に子どもたちと関わることを勧められました」。

そうして所属したのが「アスペの会」。高機能広汎性発達障害※の子どもたちと一日を通して交流する場をつくり、彼らの応援と社会参加への支援を行う団体だ。皆で美術館や水族館へ遠足に行ったり、公民館で自由に遊んだり、子どもたちの希望を尊重し、楽しんで参加できるよう工夫している。

ボランティアは自由参加だが、秋田さんは在学中の4年間、月1〜2回の活動にはほぼ毎回参加した。「楽しんで参加できたことがずっと続けられた理由です」と話すが、初めのうちは戸惑うことも多くあった。

※自閉症のうちの知的障害を伴わないもの。対人関係の構築やコミュニケーションを上手に行えないという特徴がある。

実践をとおしての学び

高機能広汎性発達障害の子どもは、他者の気持ちを推測することが苦手で、態度や言葉が原因で対人関係に苦勞する場合が多い。意思の疎通が上手くいかないため、

悪意がなくても相手を傷つけてしまうことがある。

秋田さんがボランティアに加して間もない頃、一緒に遊ぼうとした女の子に「あなたは呼んでないんだけど」と言われたことがあった。

「授業で子どもたちの特性を学んで理解していたつもりでしたが、その言い方にとてもショックを受けてしまいました」。

ほかにも、子どもから相手にしてもらえなかったり、自由奔放に思えるような行動に戸惑ったりと、慣れないボランティア活動に辛いと思うことも度々あった。だが、半ば意地になって夢中で子どもたちと接する時間を重ねるうち、次第に彼らの言動を冷静に受け止められるようになっていった。

見守り、そっと後押しする

ある時、子どもたちが体育館で遊んでいる中、秋田さんは一人皆から離れて遊ぶ子どもに気づいた。「皆と遊んだほうが楽しいはず」と思い、気乗りしない素振りのその子を何度も誘ったんです。すると、子どもには強制するのではなく、やりたいことを受け入れてあげる事が大切だ、と先輩ボランティアから注意を受けた。

「無意識のうちに自分のやらせたいことを子どもに押し付けていたことに気がつきました」。

それからは、子どもたちの行動をすぐに制止したり強制するようなことはせず、その子が何をしたいのかを考え、見守り、後押しするように心がけた。すると、徐々に子どもたちの方から積極的に話しかけてくれるようになっていった。

ボランティアを始めた頃に秋田さんにシヨックを与えた女の子と

も、クリスマス会でお気に入りの衣装を一緒に着て模擬店を開くようになった。「彼女はファッションやゲームの話が大好きで、今では会の中でも一番の仲良しです」。

子どもたちの気持ちに添う

信頼関係は、相手の気持ちを理解し、その意思を尊重することで築かれる。「ボランティアを続けてきたことで、押し付けではない、柔軟な考え方ができるようになりました。以前より、子どもの気持ちに気づいてあげられるようになったと思います」。

大学での学びやボランティアでの経験を活かして、秋田さんは2010年4月から小学校教諭となった。受け持つのは普通学級だが、将来は特別支援学級の担当もやってみたいという。「クラスの子どもたちも打ち解けてきました」と話す秋田さんの笑顔は、子どもたちの気持ちに添い、彼らの成長を応援していく喜びにあふれていた。

秋田 紗也加さん プロフィール

石川県出身。
金沢大学教育学部卒業。
「やると決めたことはやりきらないと気が済まない」という性格。2010年2月には「アスペの会」の地道な社会貢献活動が評価され、石川県健康運動青少年ボランティア賞を受賞した。バレーボールサークル「排球会」でも4年間活動続けた。



サークル紹介

現在、金沢大学には、文化系サークルが43、体育系サークルが41あり、2,500名以上の学生が所属しています。

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakusei/student/club/

連打速攻！ 剣道部

50年以上の歴史と優秀な実績を誇る金沢大学剣道部。2009年12月の第6回日本学生剣道オープン大会では、二段所持者の部において、男子は優勝、女子は優勝から3位までを独占する快挙を遂げた。

「連打速攻」を体現

剣道部には2010年6月現在、男子18人、女子9人が所属。大学入学前からの経験者が多く、主将の久保洗旗さん（教育学部4年）も5歳から剣道を続けている。練習は長期休暇中でも週6日、月曜と水曜には朝7時から朝練を行い、真冬の寒さ厳しい時期にも欠かさず練習に打ち込んでいる。

久保さんに好成績の理由を聞くと、剣道部の理念である「連打速攻」の賜物だという。「連打速攻」は、高校時代に日本一、大学時代には全日本学生剣道選手権



大会で二度の優勝経験を持つ、金沢大学名誉教授であり、剣道部名誉師範の志土孝吉先生の教え。「相手よりも早く攻めて速く打つ」という剣道だ。この教えを忠実に守ることで、金沢大学の強い剣道がつくられてきた。

日々の練習メニューも「連打速攻」の教えに従って立てられている。ウエイトをつけた竹刀での素振りや、足腰を重点的に鍛えるトレーニングなどでスタミナとスピードを身につける。ハードな練習は肉体を鍛えるだけでなく、「連打速攻」に欠かせない「粘り強い心」をも養っている。

OBとの交流が生む結束

強さのもう一つの理由が剣道部を支えるOBの存在だ。剣道部とともに学生時代を歩んできたOBは、後輩たちの活躍を自分たちのことのように喜ぶ。平日の練習であっても、指導や応援のため訪れる人もいる。

月に1回開催される稽古会には、毎回5人以上のOBが参加する。また、剣道部創始者の名を冠した年1回の交流大会「千田杯」には50〜60人のOBが参加し、現役生と竹刀を交え交流を深める。これまでに57回を数える「千田杯」の参加OBの中には、70代の四高卒業生の姿もある。

そんなOBたちの姿を目にするのは、メンバーにとって、技術的な指導を受けること以上に大きな意味を持つ。半世紀を越

える伝統。その先端に自分たちが立っていることを自覚するからだ。自然と練習にも熱が入り、自分たちの卒業後も剣道部に関わっていかうという気持ちになるという。

勝利に向けて

剣道の魅力について、「一本を取った時の爽快感と、勝って面を外したときの達成感がたまらなく気持ち良い」と語る久保さん。主将としての抱負をたずねると、「試合に勝つということを皆に意識させ、稽古の質を高めること」だと語る。剣道部は今年目標に、秋に行われる全日本学生剣道優勝大会での団体ベスト16入賞を掲げる。「皆の意識がまとまれば、もっと強くなれる」。チーム一丸となつての勝利に向けて、今日も竹刀の音が響く。

応援しよう！ 剣道部の活躍はここで！

- 全日本学生・女子学生剣道選手権大会
日時：2010年7月3-4日 場所：日本武道館
- 全日本学生剣道優勝大会
日時：2010年10月24日 場所：大阪府立体育館
- 全日本女子学生剣道優勝大会
日時：2010年11月14日
場所：愛知県春日井市総合体育館

http://www.geocities.jp/kanazawa_kendo/



新連載スタート!

金沢大学の

キャリアサポート ①

就職活動は人生における一大イベントです。大学での学びを活かし、思い描いた夢に向かう学生を金沢大学は入学時からサポート。その充実した体制を紹介します。

キャリアデザインの基礎固め(1・2年生)

学生一人ひとりが卒業後の進路を的確に描けるよう、1年次から「キャリア教育」を実施しています。単位取得によって資格・免許を得ることが出来る「キャリア形成科目群」も学類ごとに充実。早い段階から学生のキャリア意識を育て、「社会人基礎力」を養います。

導入科目

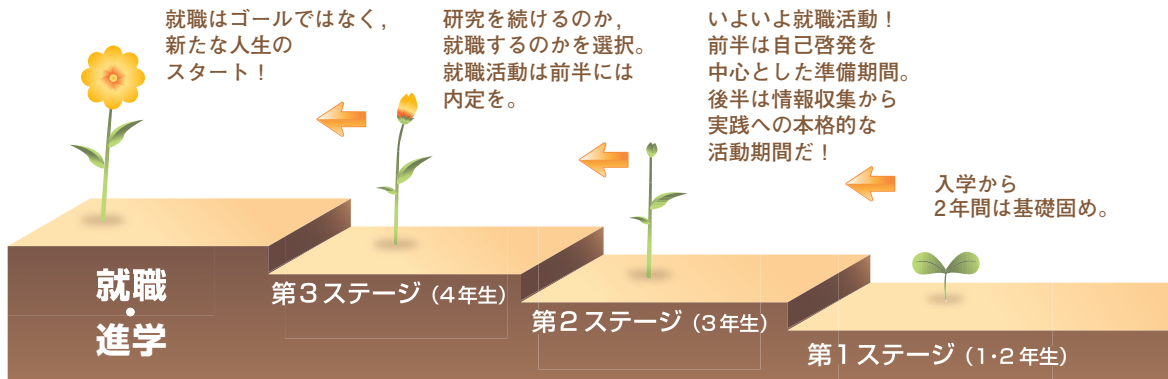
大学生としての態度や知識・教養の基礎を学ぶ「大学・社会生活論」や、「話す・聴く・考える・調べる・発表する・議論する」を主題として少人数で行う「初学者ゼミ」があります。

21世紀を生きるキャリアプラン

各界の第一線で活躍する方々を講師として招き、世界経済の現状やこれからの新しい時代に向けての生き方など、さまざまな切り口で講義を行います。

社会人基礎力

経済産業省が提唱する「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」です。「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力に分類されます。



準備・情報収集から活動へ(3年生)

就職支援室や学域・学類が開催するさまざまなガイダンスやセミナーをおして、本格化する就職活動を強力に後押しします。

インターンシップ

3年生の夏期休暇中にはできるだけインターンシップに参加するよう学生に働きかけています。インターンシップについての基礎知識や心構えについての説明会を事前に開催するとともに、受け入れ先の開拓も積極的に行っています。

個別指導

グループ面接、グループディスカッション、個人面接など、さまざまな状況に合わせた実践的な面接対策を指導しています。エントリーシートへの記入は応募企業に応じてきめ細かく指導します。また、就職先企業の選び方や最終的な進路の決め方、内定後の対応方法などについても個別相談に応じています。

就職活動最終章

(4年生・博士前期課程2年生)

企業からの追加募集情報の提供、キャリアカウンセラーや就職支援室スタッフによる個別相談により、学生一人ひとりの実情に即した支援を展開します。

また、大学院進学や博士号取得を希望する学生に対しては、進路指導担当教員がマンツーマンでサポートします。

ガイダンス

① 業種・業界別ガイダンス

官公庁や教育関係をはじめ、民間企業のさまざまな業種・業界など、大学の学生が希望する就職先の関係者を講師に招いて行います。それぞれの業種・業界の概要や特色、さらにはそこで働くことのやりがいや面白さなどについて、生の声を聞く機会を設けています。

② 就職活動実践ガイダンス

自己分析の進め方や自己PRのまとめ方、エントリーシートの書き方など、就職活動のタイミングに合わせた実践的なガイダンスをテーマ別に開催しています。地元企業への就職をテーマにしたものなど、金沢大学に特化した内容も盛り込んでいます。

業界・企業研究会

12月～2月の間に6日間、延べ300社の参加企業による学内合同企業説明会を実施。本学学生の採用実績の高い企業が数多く参加しています。また、OB・OGによる懇談会も併せて実施しています。



ここがスゴイ! 金大の就職支援



1. 地元企業との信頼関係

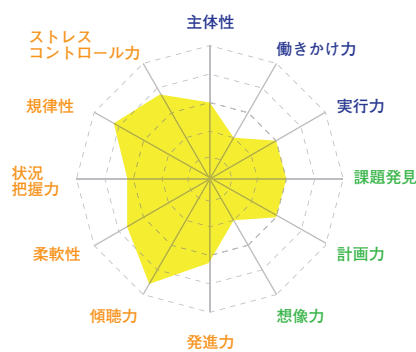
金沢大学の学生は北陸地方の出身者が約半分を占め、その多くが地元に戻って就職します。このため、北陸の官公庁・企業において多くのOB・OGが活躍しており、本学への安定した求人につながっています。共同研究や産学連携事業などを通じて構築してきた信頼関係を基に、インターンシッププログラムや業界企業研究会など金大生限定のイベントも実施しており、さらなる関係強化を推進しています。また各県と協力しながら、地元企業の魅力を伝えるガイダンスを実施しています。

2. 「適性」を重視した仕事選び

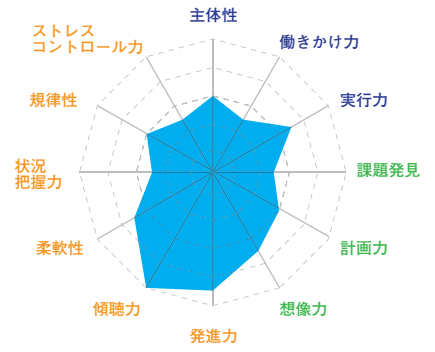
仕事を選ぶ上で重要となるのが、自分の強みと弱みを客観的に把握する「自己分析」です。本学の就職支援室では、独自に開発した自己分析システムを学生向けに開放し、その活用を奨励しています。このシステムを繰り返し使うことで、自己の成長を確認できるとともに、適性のある職種や業界はどこかという分析を行います。

また、地元企業の採用担当者にアンケート調査を行い、求人職種に必要とされる適性をデータ化して把握。この貴重な情報を自己分析の結果と照らし合わせることで、「続けられる」「後悔しない」仕事選びに役立てることができます。

社会人基礎力に基いた自己分析の診断結果例



求人像が浮き彫りになる企業からの回答サンプル例



3.

公務員試験対策講座

大学生協とのタイアップにより、在学生・卒業生を対象とした「公務員試験対策講座」を開講しています。主要官庁から講師を招いて実施するガイダンスや模擬面接など、きめ細かな指導は毎年の受講者から好評を得ています。本学からの公務員試験合格者数は、全国の大学の中でも例年上位にランクインしており、優れた実績を誇る名物講座です。

在学生・卒業生の就活を全面サポート 金沢大学就職支援室

本学の就職支援は、学生が社会で働く上で必要となる力を身につけることに重点を置いています。入学直後の共通教育科目におけるキャリアデザインをテーマとした講義に始まり、早い段階から目的を持った学びや自己開発を続けることで、学生は真の「人間力」とも言うべき力を備えることが期待できるのです。

本学が有する歴史や実績は、就職においても地元企業の信頼獲得という点で有利に働いてきました。しかし、時代は常に変化しています。現代社会が求める人材の育成に対応すべく、支援体制のブラッシュアップと地域との連携強化を図っていきます。



就職支援室

山本均ひとし 室長

金沢市出身。本学法学部卒業。地元企業、東京の大手企業での勤務を経て、現在金沢市内で人材紹介会社を経営。2009年4月から就職支援室長を兼務。

お問い合わせ

- TEL : 076-264-5265
- http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/work/
- E-mail 在学生 syukatsu@adm.kanazawa-u.ac.jp
その他 syusidou@adm.kanazawa-u.ac.jp
- 利用時間 平日9:00~17:00(資料室は21:00まで)

卒業学部を超え、日本各地で交流が進む

金沢大学同窓会情報

Alumni association information

一生の友に巡り会い、生涯をかけてやりたいことを見つける、人生において大きな意味を持つキャンパスライフ。金沢大学ではその「大切な時間」にいつでも立ち返ることができる多くの同窓会が活動しています。

6学科の連携強化で 交流促進と活性化へ 理学部同窓会 連絡会

2004年、数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球学科、計測科学科の単位同窓会相互の連携、協力を進めるべく連絡会を発足しました。

理学部では連絡会が発足する以前は、学科単位で同窓会を運営。それぞれが方針や特色を持って活動を行ってきました。例えば物理学科同窓会では物理学の教育・研究の質向上を目的に、優れた研究を行ったその年の卒業生に対して「同窓会学術特別賞」を授与。この賞は学生の研究・学習意欲を刺激し、同窓会と現役学生とのつながりを強めることに寄与しています。



第四代会長 中西 孝氏

4月22日に開かれた連絡会代表者会議では、学科同窓会の現状と今後の活動予定などが報告され、続いて連絡会を基盤に単位同窓会間の連携・協力をより強化するための意見が交わされました。その中で、同窓会名簿の整備での相互協力、会報やホームページなどによる情報発信の推進など、卒業生間のネットワーク構築に向けたさまざまな具体策が提案されました。

また、今年が総会開催年にあたる生物学科と物理学科が金大祭にあわせて行われる「ホームカミングデー」(11月6日)に総会を計画。卒業生を招いて母校の教育・研究活動の状況や優れた研究成果を紹介するイベントへの参加を機に、2つの単位同窓会の総会を同じ会場で開催することで、会員同士の交流促進を図ります。連絡会代表者会議では会長の中西孝さん(1967年卒)が「組織の環境整備・活性化を図るには、まずは気運を高め、各学科同窓会の特性を活かしつつ、連携を密にして連絡会の機能強化をめざしていきたい」と協力和理解を呼びかけました。



自然科学5号館(旧理学部棟)



学科同窓会の代表者

理学部同窓会連絡会代表者会議

活動報告 2010 01~05

Activity report

1/1 2010年新春合同寮歌祭・寮歌事始めと賀詞交換の集い

1/29 長野県庁同窓会「加賀の会」総会

2/6 体育会アイスホッケー部OB会総会

2/13 金沢工業会支部長・代表理事合同会議

2/20 教育学部同窓会幹事会

3/6 教育学部同窓会代議員会

3/27 法経文学部同窓会理事会・理事懇談会

4/6 旧四高卒業生への卒業証明書交付セレモニー



65年ぶりに卒業証明書を交付する中村学長(右)

5/8 金沢工業会理事・評議員会

5/15 薬学同窓会理事会総会講演会懇親会

5/24 北陸電力同窓会総会

単位同窓会支部総会

■ 法経文学部同窓会

3/5 富山 4/10 福井

■ 十全同窓会

3/6 沖繩 4/18 大阪 5/29 愛知

■ 薬学同窓会

2/5 関西(関西薬学同窓会)

■ 金沢工業会

2/20 東海

同窓会の人的ネットワークを活用し、有意義な人生を

[金沢大学同窓会連絡協議会参加の同窓会]

- 法経文学部同窓会 TEL(076)264-1667
- 教育同窓会 TEL(076)264-5081 (学友支援室気付)
- 理学部同窓会連絡会 TEL(076)264-5081 (学友支援室気付)
- 医学部十全同窓会 TEL(076)265-2132
- 医学部保健学科 つるま同窓会 TEL(076)265-2504
- 薬学同窓会 TEL(076)260-6366
- 金沢工業会 TEL(076)264-0482
- 四高同窓会 TEL(076)262-5464 (石川四高記念文化交流館内)

金沢大学は、卒業生を大学の重要な構成員と位置付け、連絡協議会に未参加の前身校同窓会、入学・卒業同期会、学科・研究室同窓会、学寮やサークルOB・OG会等の参加を得て、より強固な全学同窓会組織(学友会)の確立をめざしています。

新たな同窓会結成などの情報がありましたら、学友支援室へご一報願います。

[事務局] 金沢大学学友支援室 TEL:076-264-5081 FAX:076-234-4015
〒920-1192 石川県金沢市角間町 E-mail:gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

● 学友支援室ホームページ
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/index.html

■交流協定

2月 カンボジア・アンコール遺跡整備
公園等と大学間交流協定を締結



カンボジア・アンコール遺跡整備公園にて

カンボジア・カンボジア工科大
学と大学間交流協定を締結

医薬保健研究域薬学系がトル
コ・アンカラ大学薬学部と部局
間交流協定を締結

3月 ベトナム・ラックホン大学と大
学間交流協定を締結

4月 ブルガリア・バルナ医科大学と
大学間交流協定を締結

ハンガリー・ブダペスト大学
と大学間交流協定を締結

5月 インドネシア・インドネシア教
育大学と大学間交流協定を締結

■その他の連携・協定

5月 金沢大学ベトナム事務所に
関する覚書を締結

三谷産業株式会社(金沢市)のハ
イ、ホーチミン駐在員事務所に本学
の事務所を開設し、学生への情報提
供などを行います。



三谷産業(株)の薬庭代表取締役社長と
中村学長(右)

■受賞

1月 附属中学校の澤田有香教諭(現・
公立学校勤務)が平成21年度文
部科学大臣優秀教員表彰を受賞

4月 平成22年春の叙勲で
本学の名誉教授ら4名が受章
瑞宝中綬章(教育研究功章)

定塚謙二 名誉教授
長田 勇 名誉教授
茂呂 實 名誉教授
瑞宝単光章(看護業務功章)
赤堀谷子 元看護師長

■研究・教育実績

2月 がん研究所の平尾敦教授と仲一仁
准教授の研究グループが、英国
科学雑誌「Nature」に論文
を掲載

慢性骨髄性白血病の治療抵抗性原因
分子の発見により、新たな白血病治
療法開発が期待されます。

4月

オキシトシンが自閉症患者の症
状改善に効果があることを確認
子どものこころの発達研究センター
の東田陽博センター長と棟居俊夫特
任准教授らの研究グループは、自閉
症にオキシトシンの点鼻服用が長期
使用例で効果があることを世界で初
めて確認しました。

5月

細菌の磁気感知オルガネラ構造
を本学開発の高速原子間力顕微
鏡により解明
理工研究域の福森義宏教授、安藤敏
夫教授らの共同研究により、これま
で知られていなかった自然状態の磁
気感知オルガネラ構造を世界で初め
て明らかにしました。



磁性細菌の細胞から取り出し原子間力
顕微鏡で観察したマグネソーム

■論文引用数

学術論文被引用数国内20位
大学の研究面の成果や実績を示す
指標の一つとして学術論文の引用
数があります。トムソン・ロイター
社(米国)によれば、過去11年間にお
ける論文被引用数で国内20位、分野
別(薬理学・毒物学)では同5位で
す。

日本論文引用動向
国内研究機関ランキング(総合)(1999～2009年)

順位	世界 順位	機関名	被引用数
1	11	東京大学	1,041,057
2	31	京都大学	732,732
3	37	大阪大学	628,365
4	65	東北大学	473,014
5	67	独立行政法人科学技術振興機構	462,433
6	110	名古屋大学	338,129
7	124	九州大学	312,666
8	129	独立行政法人理化学研究所	306,754
9	146	北海道大学	284,189
10	151	独立行政法人産業技術総合研究所	270,838
11	171	東京工業大学	255,204
12	231	筑波大学	197,384
13	287	慶應義塾大学	159,647
14	292	自然科学研究機構	157,795
15	298	広島大学	155,650
16	311	千葉大学	148,811
17	343	岡山大学	130,575
18	356	神戸大学	124,372
19	384	東京医科歯科大学	114,439
20	396	金沢大学	108,928

トムソン・ロイター社「Essential Science IndicatorsSM」
データベースより

■科学研究費補助金

平成22年度科学研究費補助金
新規採択ランキング17位
日本の学術振興のために優れた研
究を支援することを目的に設けら
れた科学研究費補助金。
平成22年度は、金沢大学から新規
196件(交付金額5億4736万
円)、新規および継続を合わせ
594件(交付金額13億9184万
円)が採択されました。

平成22年度科学研究費補助金
採択件数ランキング(新規採択)

順位	機関名	採択件数
1	東京大学	985
2	京都大学	808
3	大阪大学	729
4	東北大学	697
5	九州大学	492
6	名古屋大学	428
7	北海道大学	426
8	筑波大学	315
9	慶應義塾大学	313
10	広島大学	296
11	神戸大学	276
12	東京工業大学	246
12	千葉大学	246
14	独立行政法人理化学研究所	235
15	岡山大学	215
16	早稲田大学	210
17	金沢大学	196
18	熊本大学	169
19	新潟大学	166
20	東京医科歯科大学	163

注) 研究代表者の所属する大学等により整理
(文部科学省研究振興局学術研究助成課)

TOPICS 金大のいまがわかる [ニュース&トピックス]

金沢大学のニュース&トピックスおよびイベント情報は、[金沢大学ホームページ](http://www.kanazawa-u.ac.jp)でご覧いただけます。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp>

January 1月

1/4 学友支援室・基金事務室執務室が移転

1/20 「金沢大学の地域連携を展望するワークショップ」を開催

February 2月

2/5 学生支援GP「第2回GPクルーと杜の里商店会のコラボレーション」を開催

2/6 「第2回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム Features for the Future」を開催

「人と環境の交わりを考える」能登半島、東アジア、そして世界」をテーマに東京で開催。約460名が参加しました。



2/6 連携セミナー「にほんの里から世界の里へ」を開催

2/11~16 学生への就職活動支援として「業界・企業研究会を開催」

↓ P18・19に関連記事

2/15 「いしかわ金沢学」特別コース「輪島塗でめおと箸づくり」を開催



2/27 平成21年度金沢大学能登半島地震学術調査部会報告会「住み続けられる地域を創る」を開催

March 3月

3/1 金沢大学派遣型高度人材育成協同プラン／金沢大学アジア人材育成プロジェクトの合同総会を開催

3/7 「いしかわ金沢学」シンポジウム「地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域から学ぶ」新しい時代に伝統を活かす」を開催

3/13 学生リユース市を開催

3/16 課外活動貢献者感謝状贈呈式を挙げる

April 4月

4/1 新がん研究所棟の竣工を記念し除幕式を挙げる

5月17日には竣工記念講演会・記念式典・祝賀会が行われました。



3/5~15 平成21年度附属学校卒業式・修了式を挙げる

附属幼稚園58名、附属小学校106名、附属中学校158名、附属高校123名、特別支援学校18名(小学部2名、中学部7名、高等部9名)が修了・卒業を迎えました。

3/23 平成21年度金沢大学学位記・修了証書授与式

学部1791名、大学院724名、別科36名に学位記・修了証書が授与されました。



4/1~6/24 資料館で「キンストレーキ修復記念・資料館特別展示」を開催

↓ P15に関連記事

4/6 中央図書館内にライブラリアカフェ「ほんわかふえ。」がオープン

↓ P14に関連記事

4/7 平成22年度金沢大学入学宣誓式

↓ P2・3に関連記事



NEWS &

4/10 能登里山マイスター入講式を
挙行

4/23 シャルジャ首長国首長殿下に
名誉博士称号を授与

授与式当日には自然科学5号館前広場
でシャルジャ首長国の音楽パフォーマンスも披露されました。



May 5月

5/14 「明後日朝顔プロジェクト20
10金沢」in金沢大学中央図
書館「苗植え式」を開催



↓ P14・15に関連記事

5/15 平成21年度学長研究奨励費
研究結果発表会を開催

↓ P13に関連記事

5/22 「グリーン・ウェイブ in 金沢
大学角間の里」を開催



5/28 男女共同参画セミナー「先輩
に学ぶ女性研究者支援」を開催

5/28 金沢大学国際貢献事業「日伊共
同研究プロジェクト」合意書に
調印



「人間社会研究域附属フレスコ壁画研究
センター」と、フィレンツェ国立修復研究

所は、南イタリアの中世の壁画群の調査・
研究に4年計画で取り組みます。5月29
日(金沢)、6月1日(東京)には国際シンポ
ジウムを開催。壁画修復プロジェクトの成
果を発表し両会場合わせて600名が参
加しました。



研究フィールドは宇宙!

5/15 金魚のウロコがスペースシャト
ルで宇宙へ

環日本海環境研究センター鈴木信雄
准教授らによる骨の代謝の仕組みの解明
をめざす「Euro Space」の宇宙実験が、国
際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」
で行われました。



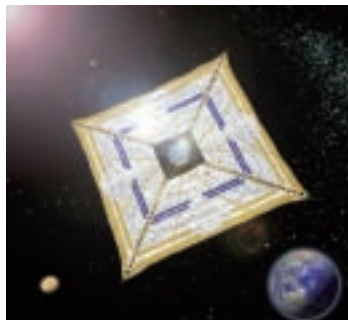
サンプルの処理を行う野口聡一宇宙飛行士
(提供:JAXA)

5/31 金沢大学名誉教授称号記授与
式を挙行



5/21 本学開発の観測装置がH2A
ロケットで宇宙へ

理工研究域数物科学系の村上敏夫教授、
米徳大補助教授らの研究グループが開発し
たガンマ線バースト偏光検出器「ギャッ
プ」が磁場を測定し、初期宇宙の謎に迫り
ます。



検出器が搭載された宇宙ヨット
「イカロス」(提供:JAXA)

↓15号/P6・7に関連記事

お気軽にご参加ください
EVENT CALENDAR
イベントカレンダー

★マークはサークルのイベント ()は開催場所です。
*マークは金沢大学サテライト・プラザで開催します。
特に明記がないものは、金沢大学角間キャンパスで開催します。

7月 July

- 3 → 「いしかわ金沢学」夏コース(石川県立能楽堂)
- 3 → 第62回北陸地区国立大学体育大会開会式★
- 4 → ミニ講演「マークトウェインを知っていますか?」*
- 10 → 金沢大学合唱団・大阪大学混声合唱団合同演奏(石川県立音楽堂)★

8月 August

- 3 → ひらめき☆ときめきサイエンス
- 5,6 → オープンキャンパス
- 9 → 理学の広場
- 10 → 市民公開講演会
- 12~16 → 夏季一斉休業
- 18 → ものづくり教室
- 28,29 → 金沢国際がん生物学シンポジウム(KKRホテル金沢)

9月 September

- 18 → 北陸4大学まちなかセミナー「健康寿命をのばそう」
- 27 → 9月期金沢大学学位記授与式
- 29~10/1 → イノベーション・ジャパン2010(東京国際フォーラム)
- 下旬 → がん研究所 県民公開セミナー

10月 October

- 14 → 第9回北陸ポストゲノム研究フォーラム
- 16,17 → 開校記念祭(附属高等学校)
- 21,22 → 北陸技術交流テクノフェア2010(福井県産業会館)
- 28,29 → 文化祭(附属中学校)

11月 November

- 4 → 大学改革シンポジウム
- 4~6 → 金大祭
- 6 → ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー
- 6 → 第4回ホームカミングデー
- 6,7 → 医学展
- 27 → 第3回来開拓研究公開シンポジウム

12月 December

- 4 → マンドリンクラブ定期演奏会(金沢市文化ホール)★
- 25 → 吹奏楽団定期演奏会(金沢歌劇座)★

公開講座

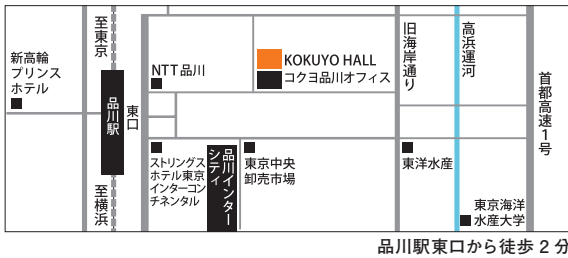
- 7/3,10 「コードネームを使った簡単なピアノ伴奏講座 初級コース」
- 7/3,17 「高校生から分かる法学・政治学の諸問題」
- 7/17~19 「ルネサンス以前の絵画技法・金地テンペラ画制作」
- 8/4,5 「高校生のための医学・発生生物学への招待」
- 8/7~9/4 「かなざわ元気が出る患者学講座」
- 8/24,25 「聴覚障害児を指導する教員のための手話講座」
- 9/4,11 「はじめてのVLSIシステム設計実習:FPGAとマイコンを題材として」
- 10/5~11/2 「心と体の健康-2010」
- 10/16~11/6 「自分らしさ発見・再発見-男女ともに生きやすい社会をめざして-(Part2)」
- 11/27,12/4 「現代学校教育考」
- 1/22 「日本海の水中考古学」
- 1/26~28 「薬局見学・体験ツアー」
- 1/29~3/26 「細胞診断学演習」

[詳細情報] http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kaiho_c/kouza.htm

Features for the Future フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー

第3回 金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム

金沢大学が世界に誇る最先端の研究を紹介します。 入場無料 | どなたでも参加できます



- 日時 2010年11月27日(土) 13:00~17:30
- 場所 KOKUYO HALL 東京都港区港南 1-8-35 TEL:03-3450-3712
- お問合せ 金沢大学総務部総務課 TEL:076-264-5010 FAX:076-234-4010 E-mail: ffk@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学の最新情報は金沢大学ホームページからご覧いただけます。 <http://www.kanazawa-u.ac.jp/>



K-Dictionary

金沢大学の魅力を230のキーワードから紹介します。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/k-dictionary/mobile/>



Mobile Site

携帯サイトはこちら!

<http://daigakuic.jp/kanazawa-u/>



〔Acanthus 146c〕
古代ギリシア・ローマに由来する植物で、和名を葉薊(ハアザミ)という。金沢大学校章のモチーフになっていることから、キャンパス内施設に名称が用いられるなど、長年にわたり学生や教職員に親しまれている。

〔表紙写真〕
大学会館(角間キャンパス) いつも多くの学生で賑わう大学会館。明るい日が差す屋外スペースにはテニスやバドミントンが置かれ、学生の憩いの場となっています。モデルは本誌P8・9に登場する金沢大学法律相談所の皆さん。

〔編集後記〕
今号の特集では、夢に向かって挑戦する学生たちをクローズアップしました。また、新連載では、本学の「キャリアサポート」を追いかけます。無限の可能性を持った学生たち。本学をベースにいきいきと活動する彼らの姿を紹介し、大学をあげてサポートしていきます。